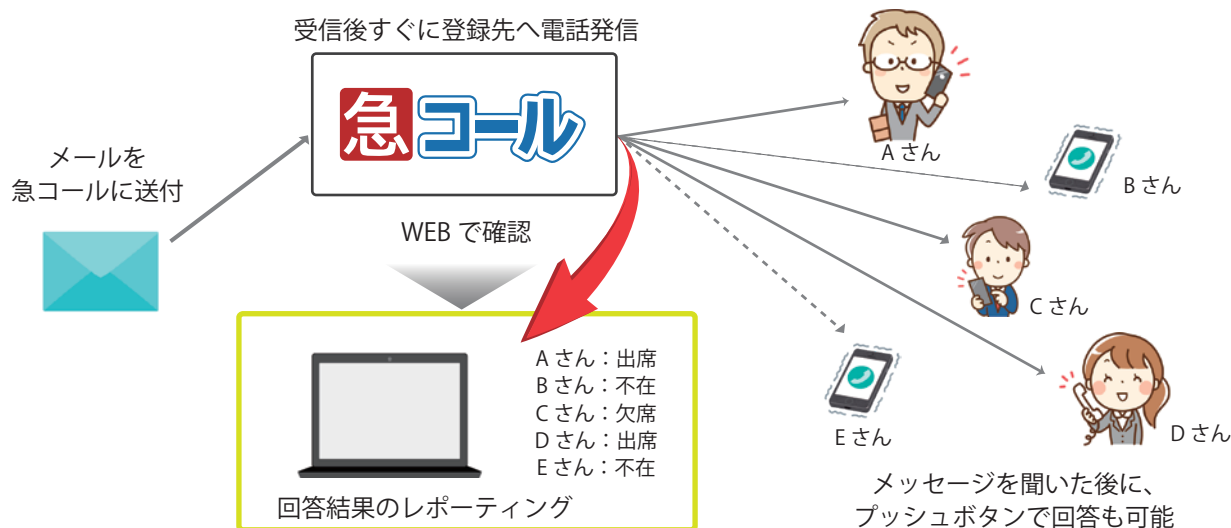


大事なメールを電話で知らせる

急コール**緊急** 時の担当者への連絡を、
自動電話で**迅速・確実**に伝え、
その場で回答を入手してくれる

連絡手段のベストソリューション!

急コールは、メールやシステムからの通知を受信すると、あらかじめ登録された連絡先に自動で電話をかけてメッセージを流します。さらに押しボタンでの回答を、webやメール通知で確認できます。



このような課題やお悩みはありませんか？

緊急で一度に多くの関係者に連絡し、
確実にメッセージを伝えたい。

< 教育 >

学校やクラブでの緊急連絡（緊急保護者会、集合場所変更など）

< 医療・福祉 >

介護施設での容態変化の通知

< 飲食・宿泊 >

予約のリマインド（レストランやホテルの無断キャンセル対策）

< ITシステム・設備 >

ITシステムや製造設備、警報装置からの緊急情報の通知

< 旅行 >

訪日外国人ツアー向けの緊急連絡

メッセージへの回答を、すばやく入手
したい。

< BCP・災害時対策 >

企業や組合の社員・職員の安否確認、BCP対策

< 夜間休日対応 >

障害発生時の対応可能技術者の確認

< 緊急時の待機要員確保 >

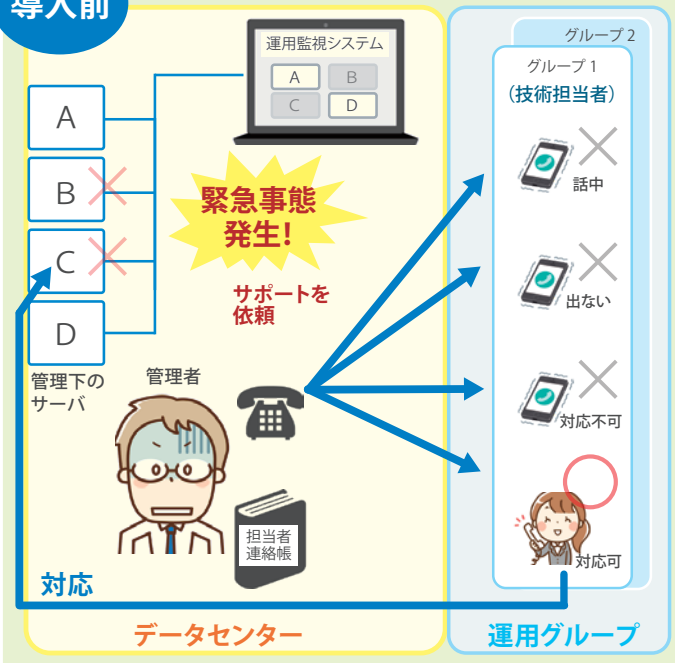
コンビニやFC店舗でのアルバイト要員など

< キャンセル発生時の連絡 >

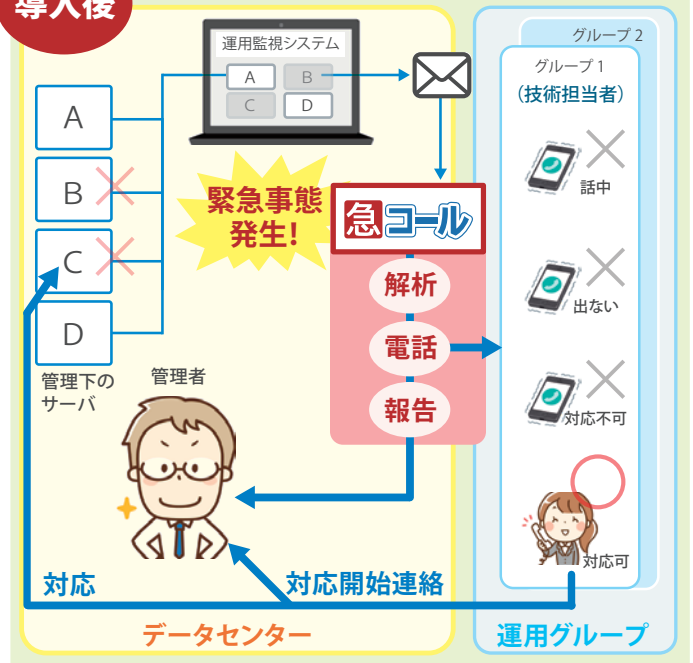
補欠・キャンセル待ちのお客様に対して、空気が発生した時の連絡

データセンター様でご利用の場合

導入前



導入後



想定課題

- ・夜間はセンター（D.C.）に運用要員が少ない（少ない）
- ・トラブルが生じると現場対応で電話している暇がない
- ・今後、サポートシステムが増えると、D.C.の管理要員のマンパワーが不足する

導入メリット

- ・D.C.管理者のマンパワーを最小にできる
- ・トラブル時にスピーディーな対応ができる
- ・契約管理システム数が増えても、D.C.の管理者を増やす必要が、生じない

処理概要：導入前

- ① D.C.の管理者は、生じたトラブルに対して、どのシステムをどのグループが担当しているのかを、担当者連絡帳で調べる
- ② グループのシフトを含めて確認し、連絡可能な要員を選別する
- ③ 特定された要員に、つぎつぎと電話し、対応可能な要員を探し出し、対応を依頼する
- ④ 対応可能な要員とサポートを開始する

処理概要：導入後

- ① D.C.の管理者は、生じたトラブルに対して、急コールにサポート依頼メールを入れる（又は、システムが生成するアラートメールを急コールに送る）
- ② 急コールは、メールを解析し、連絡すべきグループを特定する
- ③ 特定されたグループに登録されたメンバー（シフトも考慮する）に、自動で一斉（又は順次）に電話し、メッセージを伝えてその回答を得る（PushToneにて回答）
- ④ D.C.の管理者に結果報告し、対応可能な（メール及びwebでの報告）要員とサポートを開始する

構成・価格は
下記窓口にお問い合わせください

「急コール」お問い合わせ窓口



03-5829-4886
(平日9:30~17:30)

<https://www.cuecall.jp>
cuecall@widetec.com



株式会社 ワイドテック

〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-11-2 イトーピア岩本町二丁目ビル4F
TEL 03-3866-6450 FAX 03-5829-6258